

進路ニュース

平成26年8月29日
鳥取県立白兔養護学校
進路担当

平成26年度 第4号

2学期が始まり、元気な児童生徒の皆さんの姿と声が戻ってきました。今回の「進路ニュース」では、夏休み前に行われた校内外の行事と、夏休み中の職員研修についてお伝えします。

わくわく職場体験

7月31日（木）に下記の目的で、小中高の教職員約60名が参加し、2つのコースに分かれて職場見学を行いました。

【目的】

- ・教職員が企業等の施設見学や概況把握を行い、そこで得た情報をもとに小中高一貫した進路指導に生かしたり、授業づくりに役立てたりする。
- ・民間企業や施設等の現実学び、企業の方と人間関係を構築し、進路指導・就労支援のための力量を高める。

各施設の責任者の方から説明を聞いたり、作業の様子を見学したりすることで、利用者の働き方、支援の仕方を具体的に目にすることができました。今後の学習や就労支援につなげていきたいと思います。

〈文責 絹見睦美〉

見学先（Aコース）	見学先（Bコース）
1 障害者福祉センターあさひ園	1 菌興椎茸共同組合ヘルシー事業部
2 障がい者デイサービスセンターさわやか	2 下段グリーンファーム・下段きのこセンター
3 ウイズユー千代工場・千代作業所	3 フェリース
4 砂丘福祉作業所	4 このゆびと一まれ（デイサービス）
5 うぶみ苑多機能型事業所	5 このゆびと一まれケアホーム

ラベル貼りの作業を見学



砂丘福祉作業所

やなぎまつたけのパック詰め、箱詰め作業を見学



菌興椎茸共同組合ヘルシー事業部

就労促進セミナー

7月17日（木）に東部地区5校の特別支援学校の共催で、鳥取大学附属特別支援学校を会場として、平成26年度東部地区特別支援学校就労促進セミナーが開催されました。

この会は特別支援学校の生徒の様子と学校の取り組みを事業所の方に知っていただき、障がい者への理解啓発、就労促進につなげることを目的としています。

午前の部では、「各校の学校紹介」、「学習公開」を行い、午後の部では、「各校生徒による意見発表」、「卒業生・保護者による意見発表」、「障がい者雇用事業所による発表」を行いました。さらに「障がい者の就労について」と題して、本校の就労サポーター小林博さんの講演もありました。

事業所、作業所関係者、保護者等、総参加者数は約240名でした。34社の企業の方に参加していただき、昨年のセミナーよりも参加企業数、参加者数とも増えています。

「生徒による意見発表」では、高等部3年生の小國翔平さんが日々の授業や実習で学んだこと、将来の仕事に対する夢等を堂々と発表し、参加者から大きな拍手をいただきました。

「事業所による発表」では、各社で雇用されている障がいのある方の働きぶりや会社の支援体制等を語っていただきました。参加企業の方から、「働きたいというひたむきな思いに感心した」、「企業側の理解によって力を生かせる場はまだある」等の感想をいただきました。

〈文責 山根孝子〉



中学部3年生体験入学（前半）

7月9日・14日・15日に高等部体験入学（前半）がありました。昨年までは、本校の生徒だけで一斉に体験していましたが、今年度は他校の中学生と交じり、3日間に分かれて行われました。はじめは表情が硬かった生徒も、高等部についての説明、体験生徒だけの学習、先輩と一緒にの作業や教科学習と進むにつれ、発表したり、一生懸命作業に取り組んだりといった様子が見られ始めました。高等部の生活を体験して、自分の進路をより具体的に考えることができ、また、自分たちの新たな課題に気づくことのできる1日でした。9月には高等部体験入学（後半）が行われます。

〈文責 田渕章恵〉



作業学習（クリーニング班）
先輩からアイロンのかけ方を教わりました。



体験の生徒全員で教科学習
白兔の「あいうえお」